

# 研究参加者（ご遺族） を募集しています

がんでご家族を亡くされたご遺族を対象にした  
支援プログラム開発のための研究です。  
どうぞお気軽にお問合せください。

## この研究について

- ・死別によって閉じこもりがちな生活から、ご自身の大切にしていきたいことを一緒に整理し、少しずつ望んでいる行動を始められるように支援します。
- ・行動活性化療法という行動に焦点をあてたプログラムです。
- ・事前面接とプログラム7回で 約2-3か月かかります。  
（1-2週間に1回の頻度で毎回50分の面接と10分の課題）
- ・対面参加（お越しいただく）かオンライン参加（Web会議）のどちらかを選べます。
- ・終了後（2週間後と3か月後）にアンケートにお答えいただきます。
- ・参加は無料です。（交通費は実費、謝礼あり）
- ・参加人数 20名

この研究では「抑うつ軽減効果があるがん患者のための行動活性化療法がご遺族に対しても有用で安全に実施できるか」について調べます。

## 研究参加者の条件

（詳しくは事前面接で研究担当者が評価します）

- 20歳以上の男女
- 死別3年以内のがん患者のご遺族
- 抑うつ症状がある
- 全7回のプログラムに参加できる
- 重篤な身体症状や精神症状がない
- （オンライン参加の場合）実施環境が整っていて、実施のルールが守れる など

お問い合わせ先 [izokuba.group@nms.ac.jp](mailto:izokuba.group@nms.ac.jp)

研究代表者 浅井 真理子 日本医科大学医療心理学教室 〒180-0023 東京都武蔵野市境南町1-7-1

この研究は日本医科大学、国立がん研究センター中央病院、早稲田大学で共同実施することが  
日本医科大学中央倫理委員会で承認され、臨床研究実施計画・研究概要公開システム(jRCT)に公表しています。